

ゼロカーボンシティ推進共通取組項目の選定について

皆様にご協力いただいたアンケート（問1）のご意見から、令和7年度に当協議会としてゼロカーボンシティ推進に向けた共通取組項目として、1つ選定し、意識的に取り組んで参りたいと考えております。

つきましては、次の項目の中から、共通取組項目として望ましいと考えられるものを3つお選びいただき、左端の欄に「マル○」をご記入ください。

	節電（昼休憩時の消灯・不要な照明の消灯・こまめに消灯・冷暖房を抑える など）
	節水、省水（水道の使用時に蛇口を開けっ放しにしない など）
	シャワーを流しっぱなしにしない。湯（浴槽の量）のメモリを1つ減らす。追い炊きを減らす。
	省エネ家電の使用
	照明のLED化
	CO ₂ 排出量算出サービスの提供（CO ₂ 排出量の見える化）
	工場内の焼成炉外面に遮熱シート貼付（工場内の熱対策と燃焼費向上）
	工場エア用コンプレッサーのタイマー運転
	輸送の効率化
	デジタル技術の導入（ダイヤシステムの導入により作業の効率が向上）
	新型車両導入における省エネ化推進によるCO ₂ を約40%削減
	バイオコックス・バイオディーゼル燃料混合経路「B5」の活用
	オーバーツーリズムへの対策（遊覧船やロープウェイのオフピーク営業、夜行列車・臨時列車運行などによる渋滞対策）
	ペーパーレス化（業務における紙ベースでの資料のほぼ廃止による省エネ化と業務効率化）
	再生可能エネルギー（太陽光パネル等）の設置
	近距離の買い物、通勤では自動車の使用を避けて歩く、自転車を使う。
	EVバスの利用
	ガソリン車からハイブリット車への乗り換え
	食品ロスの削減
	コンポストの導入
	自分たちで食べるお米、野菜を自分の手で育てる。また、育てるための肥料等を地域の中でまかなう。 （食料や肥料の輸送コスト及びCO ₂ 排出の低減、農地の保全・活用）
	調理の際に出る調理くず等の野菜くず、生ごみを農園で飼っているニワトリへ与える。 生ごみと鶏ふんは混ざり、醗酵することで良い肥料になる。（生ごみの焼却の燃料代とCO ₂ 排出の低減）
	洋服は丈夫で長く着られるものを選ぶ。
	マイペン、マイバック、マイボトル運動（プラスチック製品の使用削減）
	ごみを増やさない。
	ごみの分別を徹底する。
	わらしべ長者まつり（一着一品交換会）（3Rの推進）
	なるべくペットボトルを買わないように水筒を持ってくる。